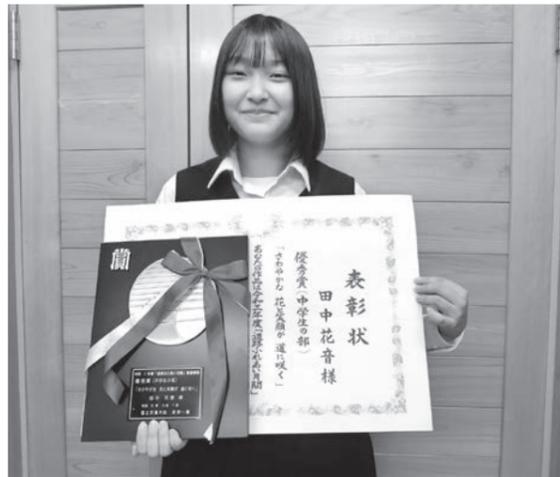


「道路ふれあい月間」推進標語  
都幾川中・田中花音さん優秀賞

「さわやかな 花と笑顔が 道に咲く」  
毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路  
愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種  
活動を推進している国土交通省から推進標語  
の募集がありました。全国3,713の応募作品の  
中から、都幾川中学校の田中花音さんの作品  
が優秀賞に選出され、入選した田中さんには、  
国土交通省より賞状及び楯が贈られました。  
入選した田中さんの作品は、令和3年度「道  
路ふれあい月間」の推進のため、幅広く活用  
される予定です。



国土交通省から表彰された田中さん。おめでとうございます。

写真説明

大附で数十年に一度の偉観  
リュウゼツラン、空に花咲く

7月30日(金)、大附地内で、「数十年に1度だけ」花を咲かせるといわれるリュウゼツランが、約7.5mの高さまで花芽をのばし、空に花を咲かせました。リュウゼツランは、南米原産の多肉植物で、その肉厚でとげのある大きい葉を竜の舌に例えたことで、「竜舌蘭」の名前が付いたようです。

土地所有者の方は、「花芽は始めからこの太さで、2か月くらいかけてこの高さまで伸びました。このリュウゼツランは70年前にはあったと聞いていますが、花を咲かせるところを見るのはこれが初めてです。」と嬉しそうに話してくれました。

なお、リュウゼツランは、数十年の生涯に一度だけ花を咲かせ、その後は枯れてしまうとのこと。最期に空に一花咲かせるその姿は、夜空に一瞬だけ花開いた花火のように見事でした。



空に花開いた見事なリュウゼツラン。生涯をかけて、多数の黄色い花を咲かせています。

写真説明

# グラフときがわ

写真でときがわの「今」をお伝えする“グラフときがわ”。珍しい情報や写真は☎65-0401 広報担当までお寄せください。

東京2020パラリンピック  
採火式を行いました

8月16日(月)、体育センター前で、町内小学生5名が昔ながらの方法で火を起こし、ときがわ町出身障害者アスリートの森田選手が、子どもたちそれぞれの想いと共に、東京2020パラリンピック聖火の元となる火を採火する採火式を開催しました。パラリンピックの聖火は、「パラリンピックを応援する全ての人の熱意が集まることで聖火を生み出す」という理念に基づき、埼玉県内では17市町村で採火されました。

子どもたちは、マイギリ式火起こし、火打石などにより火起こしを行い、はじめはなかなか火が着かなかったものの、最後まで諦めず挑戦した結果、全員が無事に火を起こすことができ、自分たちが起こした火が、パラリンピックの聖火という大きなイベントに携わる貴重な体験となりました。



採火式の様子。子どもたちが頑張って起こしたこの火は、専用のランタンで東京に送り出されました。

写真説明